



We Serve

紫陽

ライオンズクラブ国際協会 333-C 地区

地区ニュース

1990 ~ 92 No. 4 1992年 2月 10日発行



友情の絆で広げる まごころ奉仕

目次

● ライオンズの誓いについて	地区ガバナー L. 吉田 政勝	1
● 松戸南LCの結成式	松戸東LC会長 L. 関川 和則	2
● 激変のモスクワLCを訪ねて	L. 角谷 正一(柏LC)	4
● 第30回東洋東南アジアフォーラム	地区総務委員長 L. 竹内 清	4
● 第2回キャビネット会議報告	地区幹事 L. 渡辺 惇	6
	ガバナー提出議案	7
	委員会提出議案	
	アクティビティ資金創設検討委員会報告	委員長 L. 小泉 昭
	答申書	委員長 L. 小泉 昭
	333C地区アクティビティ資金規則(案)	
	財政特別委員会報告	委員長 L. 平井 勇
	答申書	委員長 L. 平井 勇
● LCIF所感	地区LCIF・国際協調委員長 L. 山内 克巳	
● 薬物乱用防止千葉県民大会開催の提言	地区薬物乱用防止・糖尿病教育委員長 L. 邊辺 瑞男	
● リジョンの頁(3R)		18
	新ライオンズクラブ結成に参加して	千葉幕張メッセLC 会長 L. 白井 日出男
	ライオンズクラブとは	地区LG L. 矢田 常吉
	悪貨は良貨を駆逐する	3R1Z ZC L. 吉川 佳彦
	雑感	3R2Z ZC L. 中村 勝和
	CN25周年記念式典	佐倉LC 会長 L. 丸島 富夫
	ライオンズマンの誇り	四街道LC 会長 L. 中澤 寛義
	千葉幕張メッセLCの結成と身障者を国体へ送って	千葉LC 会長 L. 霜 礼次郎
	クラブ運営前半の経過を顧みて	市原南LC 会長 L. 御園生 孝
	献血5万人達成	千葉若潮LC 幹事 村元 英郎
	3Rリジョンの頁を担当して	3R・PR情報委員 L. 鹿野 国秀
● 活動するライオンズ		28
	浦安シーサイドLC 銚子LC 銚子中央LC 千潟LC	
	館山・鋸南・館山中央・館山北・館山南LC	
	白子LC 長南LC 九十九里LC 成東LC	
● 雲仙災害義捐金		33
● LCIF送金状況		34
● MJF名		35
● 編集後記	L. 蒔田 辰男	38



We Serve

ライオンズの誓いについて

地区ガバナー L. 吉田 政 勝

ライオンズの誓いは1960年5月、新潟における第6回302-E地区年次大会で採択された通り「われわれは知性を高め、友愛と寛容の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する」であります。之はライオンズクラブの会員である誇りとその責任を、端的に表す言葉であります。その後国際会則の改正が行われ、国際会則第2条第2項の目的の(a)項の寛容の精神という言葉は相互理解の精神に置きかえられました。

之をうけて先ず335複合地区は国際会則が改定されたからライオンズの誓いも寛容から相互理解の精神に変えるべきであるとのことで変更されました。他の複合地区も之にならって変更され、現在相互理解5対寛容3の割合になっております。寛容を使っている他の2つの複合地区も早晩「相互理解」に変えるものと思われま。従ってわが地区でも寛容より相互理解に変えてほしいと思います。

昨年度333MD(複合地区)ガバナー協議会でもこの問題が提起され、当時エレクトでもなかった私もその旨発言させて頂きましたが、なかなかその壁は厚く、結論としては「全クラブメンバーの総意を聞くことを課題として、しかる後、検討すること」となりました。

1991年6月ガバナーエレクトを拝命し、オーストラリアのブリスベンで開かれた国際大会の折、全国31人のガバナーエレクトが集まりましたので、333、334、336の各、ガバナーエレクトに直接お話し、且お話しできなかったエレクトには手紙にて各準地区、複合地区にて検討して頂くようお願いいたしました。

その後334、336のMD議長より「Lの誓い」の一部変更をMD年次大会に提案したいので、333MDも考慮願いたい。日本の8MDの「Lの誓い」を一本にまとめようとの申し入れがありました。之をうけて、333MDガバナー協議会で検討の結果、之に賛同することに決まりました。

今年度この件について北村泰彦地区運営特別委員長がアンケートを実施して下さいました。その結果変更を可とするものは全体の59.4%で多数意見であり、どちらでも良いという中立を加えると実に全体の86.9%であ





We Serve

りました。

日本ライオンズ8MDのなかでライオンズの誓いが2つあるのもおかしいし、(3つあったこともありました)国際会則の変更にもなつての変更であることに思いをいたす時、寛容ということばもすばらしいことばであり、多年親しんできたことばであります、いつ迄も之にこだわることなく、世の趨勢に従ってゆくことも大切であると思います。

この変更問題は333MD年次大会と共に333-C地区年次大会でも議案として提出されます。会員の皆様のご承認が得られますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

(古くして古きものは滅び、古くして新しきものは栄える。)

松戸南LCの結成式

松戸東LC 会長 L. 関川 和 則

人口45万を超える松戸市とはいえ、既にLC4、RC5クラブあるところに新クラブを結成することは、東京通勤者の多い市の性格から大変な苦勞が予想されました。しかし、クラブ会員の和と忠恕の心、それにEXT委員の並々ならぬ骨折りによつて松戸南LCの結成が実現し、会長として感無量なものがあり、松戸東及び松戸南クラブの会員に対し感謝の念で一ぱいであります。

私達松戸東LCでは、チャーターナイト十周年記念事業の一つとして新クラブのスポンスが採り上げられ、私がまだ会長予定者であつた5月にEXT委員を任命し準備にかかりました。EXT委員会では、先輩クラブの残された新クラブ結成に関する諸資料に基づいて勉強を重ね、結成会までの手順に應ずる日程、募集要綱、募集方法、目標会員数、各委員の分担等を決めていきました。

全員の募集については、クラブ会員全員の協力を仰ぐこととし、例会に於いて屢々入会見込者の推薦を要請しました。2か月の努力の結果入会予定者が20名を超えた9月に入り、漸く説明会、10月にキー・メンによる例会見学を実施することができました。その間試行錯誤を繰り返し、キー・メンによる三役及び理事会メンバーを選定していきました。初めて顔を合わせるメンバーのため役員選定へは殊のほか大へんでした。その後役員会、結成準備会を度々開催し、EXT委員会の指導によつて、結成要項等次々と議決しました。特にクラブ名称がなかなか決まらず、例会場は松戸市に適当な場所がなく困りました。また、入会金及び年会費についても、多額であれば入会予定者が脱落するし、少なければ運営に支障を来すというジレンマにEXT委員会はその指導に苦慮したようです。

それにしても、入会申込者の増加という困難を克服し、吉田地区ガバナー、関地区EXT委員長、上原R

C、吉岡ZC、堀越日本駐在員その他の方々の熱い御指導により準備が整い、12月1日結成会及び結成式を開催するまで漕ぎつけました。そして当日ゾーン内ブラザークラブの祝福のうちに、会員数32名の松戸南LCが誕生いたしました。

私達のクラブも十周年において漸くEXTを実現し、大きな責任を果した喜びと安堵に浸っております。松戸南LCの今後における順調な成長を祈念するとともに、地区ガバナーをはじめ御指導をいただきました方々に対し心から御礼を申し上げます。

ついでながら、松戸南LCのチャーターナイトを平成4年5月9日(土) 柏市プラザハイアンにて開催します。御案内を後日差しあげますが、是非大勢の方々のお出かけをお待ちしております。





We Serve

激変の中モスクワLCを訪ねて

L. 角谷正一 (柏LC)

社会主義共産国家脱皮したソ連にライオンズクラブが誕生して1年余りになる。昔ならおおよそ考えられないことだが、衣食足りず、奉仕の何たるかも理解できず、組織が機能するのはだいぶ先の話になるだろう。

しかしあれだけの大国、軌道に乗ったときのパワーは乞御期待。

世界は本当に変わりつつあることを、肌で実感した。

過日(平成3年11月10日～14日)柏LC、柏中央LC、柏オークLC、流山LCより計8名が今夏来柏したボリショイサーカスの答礼も兼ねてモスクワを訪れ、設立間もないモスクワLCを表敬訪問した。大勢のメンバーの方々より約1時間半質問攻めに遭い、特にYE生について外貨のないソ連で、どうしたら日本に送り出せる



か、成田までは送り出せるが等々、なお、LC国際協会のマニュアルが必要とのことで早速送りました、日本からのモスクワLC訪問は初めてのようでした。

素晴らしいアジアの祭典

「第30回東洋東南アジアフォーラム」

地区総務委員長 竹内 清 (習志野LC)

第30回東洋東南アジアフォーラムが、1991年11月7日から10日迄の4日間、神戸ポートアイランドで開催された。

このフォーラムの登録者数は



台湾 1498
 フィリピン 53
 香港、マカオ 41
 マレーシア、シンガポール、
 ブネネイ 19
 韓国 1026
 タイ 183
 日本 12967
 その他 5

合計 15792 人でフォーラム史上最多の記録を達成し、8日の開会式は、大きな歓声の中、華やかに厳

粛に、身の引きしめる感激のうちに進められた。

多彩な催し物が、あちらこちらで繰り広げられ、交歓の場には、賑やかにフォーラム最大の目的である「会員相互の親睦を図る」出合いが沢山見られた。

神戸フォーラムの中心テーマ「繁栄と自然と」について、つまり地球規模で環境保全の問題をかかえながら、どのような繁栄の道があるのか、国を超え、立場を超え、みんなで話し合ってみようという中で、テーマの基調講演者、鳥羽水族館館長L. 中村（元ガバナー鳥羽LC）は、自然と繁栄は平和共存するための人類の永遠のテーマであり、「未来を考え、いま行動しよう」と話を結ばれた。

次期開催地は、マレーシアのクアラルンプールで11月26日から29日まで「世界は一つ」のテーマのもとに行われるが、マレーシアのライオンが一生懸命にPRされていたのが、印象的だった。



第2回キャビネット会議報告

地区幹事 L. 渡 辺 惇

1. 第2回キャビネット会議は、平成3年11月23日午後1時より、千葉県労働者福祉センターにおいて開催された。

各リジョンチェアマンおよび各委員長から活動状況について詳細な報告があり、いずれも活発な活動が行われていることが如実に看取された。ご同慶の至りである。

2. 吉田ガバナーから5件の議案が提出され、いずれも原案の通り可決された。これにより、次年度ガバナー候補者としてL. 矢田常吉（千葉中央LC）、次年度ルテナントガバナー候補者としてL. 松丸善次郎（市川東LC）を推薦することが決定した。次年度の体制が確立できたことは誠に嬉しいことであった。

3. 吉田ガバナーが実現に執念を燃やしてこられた地区アクティビティ資金の創設も、この会議において承認された。年次大会における承認を経て、資金設立が始動して行くことになる。将来333-C地区の発展に大

いに寄与することであろう。心から期待するものである。

それと同時に、地区ニュース誌発刊費用一部の会員負担の件も承認された。地区ニュース誌発刊費用が地区運営費の内に占めていたウェイトを考えれば、地区運営を担当する立場からは朗報である。地区ニュース誌は、キャビネットと会員を直接に結び合わせている唯一の情報源であり、その重要性は大変に高いものであるが、このサービスを受け取る会員の側で発刊費の一部を負担して頂くことはやむを得ないと考える。会員の皆様が地区ニュース誌を大いに活用され、またその内容の改善に積極的に発言されては如何であろうか。

4. いよいよ今期を締め括る年次大会への準備が具体的に動き出す時機が到来した。年次大会は、ライオンズクラブが会員に対して開かれた民主的な組織であることを示している重要な機会である。そのことを認識

されて、多くの会員各位が参加されることを心から待ち望む者である。

5. 第2回キャビネット会議におけるガバナー提出議案と、委員会提出議案との議事録を最後に添付して、キャビネット会議の報告とする。



ガバナー提出議案

(ガバナー提出議案についてはいずれも年次大会の議を経ることとなる)

第1号議案 次年度ガバナー候補者推薦の件

333-C地区の次年度ガバナー候補者として、現地区ルテナントガバナーL、矢田常吉(千葉中央LC所属)を推薦致したく、提案します。

<決議> 原案の通り承認可決する。

よって、次年度ガバナー候補者として「L、矢田常吉(千葉中央ライオンズクラブ所属)」を推薦することが決定された。

第2号議案 次年度ルテナントガバナー候補者推薦の件

333-C地区の次年度ルテナントガバナーとして、L、松丸善次郎(下総中山LCの所属)を推薦致したく、提案します。

<決議> 原案の通り承認可決する。

よって、次年度ルテナントガバナー候補者として「L、松丸善次郎(下総中山ライオンズクラブ所属)」を推薦することが決定された。

第3号議案 議事規則等承認の件

333-C地区年次大会議事規則および第38回年次大会構成表、予算案、議事運営構成表、決議委員会(フォーラム)担当委員の承認の件(いずれも別紙の通り)を提案します。

<決議> いずれも原案の通り承認可決する。

第4号議案 地区アクティビティ資金の創設について

地区アクティビティ資金(仮称)創設検討委員会において、地区アクティビティ資金の創設の是非および問題点の検討を続けてこられたが、今般、別紙の通り「資金創設を是とする」答申が提出された。よって、地区アクティビティ資金の創設を提案します。

<決議> 原案の通り「地区アクティビティ資金」を創設することを承認可決する。

なお本件については、「地区アクティビティ資金運用規約案」を作成し、右規約案につき次回のカビネット会議において審議するものとする。

第5号議案 会報地区誌負担金の徴収について

地区財政特別委員会において、地区財政の健全化を図るため、地区ニュース発刊に関する経費の一部を会員から徴収することの是非について検討を続けてこられたが、今般、別紙の通り「徴収を是とする」答申が提出された。

よって今後、会員1人当たり年額金1200円の会報地区誌負担金を徴収することを提案します。

但し、今年度に関しては期間途上のことでもあり、半額の600円の徴収に留めることを提案します。

<決議> 原案の通り「会報地区誌負担金」を徴収することを承認可決する。今期については年次大会における承認を得た後に600円を徴収し、次年度以降は年額1200円(半期毎に600円)を徴収する。



委員会提出議案

[I] 視力ファースト・献血・献腎推進委員会提出議案

第1号議案 アイバンク・アクティビティの件

財団法人千葉県アイバンク協会に、本年度も各クラブの自主的な判断により助成金をアクティビティするように勧奨して頂きたい。

第2号議案 献腎呼び掛けについて

千葉県ヘルス財団の献腎推進運動への協力として、地区内メンバーに対し献腎登録を勧奨して頂きたい。

<決議>

第1号議案について

原案の通り承認する。

よって地区ガバナーは、各クラブに対し例年の如く財団法人千葉県アイバンク協会への助成活動を積極的に推進するように文書で通達する。

第2号議案について

原案の通り承認する。

よって地区ガバナーは、各クラブに対し千葉県ヘルス財団への献腎登録活動を積極的に推進するように文書で通達する

[II] 薬物乱用防止・糖尿病教育委員会提出議案

第1号議案 麻薬・覚せい剤等薬物乱用防止千葉県大会実施に関する件

第2号議案 小児糖尿病患者のキャンプ支援実施に関する件

<決議>

第1号議案について

原案を次の通り修正し承認する。

「委員会は、麻薬・覚せい剤等薬物乱用防止千葉県大会について、実施する方向で細目につき検討を始める。」

第2号議案について

原案を次の通り修正し承認する。

「委員会は、小児糖尿病患者のキャンプ支援について、実施する方向で細目につき検討を始める。」

[III] 3委員会共同提出議案

「視力ファースト・献血・献腎推進委員会 視聴力保護・言語障害・盲人福祉委員会 薬物乱用防止・糖尿病教育委員会」

第1号議案 アンケート結果配布の承認を求める件

上記3委員会は、第1回キャビネット会議にアンケート実施の件を提案し承認を受けたので、過日これを実施した。

ところで右アンケートの結果については、検討の上、地区内各クラブへ配布致したいと考えている。

よって結果の集約が終了次第、各クラブ宛に配布することについて承認を頂きたい。

<決議>原案の通り、アンケート結果の配布を承認する。

アクティビティ資金創設検討委員会報告

委員長 L. 小 泉 昭

今年度、吉田ガバナーの提唱により、333-C地区アクティビティ資金の創設が検討されてきたことは、ガバナー公式訪問の機会あるいは地区ニュース誌の記事などを通じ、会員には周知のことと存じます。

本問題は「アクティビティ資金創設検討委員会」において主として作業を進めてきたものであり、将来の地区運営にとって大きな影響を持つものと考えますので、作業の進捗状況を報告すると共に、会員各位から本問題につきご意見があれば今後の作業の参考にさせて頂きたいと考えております。

1. 本年度第1回キャビネット会議において、本委員会の委員8名が任命され、合わせて私が委員長に指名されました。委員会ではガバナーの諮問を受けて直ちに検討作業に着手し、数回の委員会を開催し、各方面から慎重且つ掘り下げた討論を行い、その結果を別記のごとき答申案にまとめて吉田ガバナーへ提出しました。

2. 右答申案は、第2回キャビネット会議に資料として提出され、キャビネット構成員の討議に委ねられて、キャビネット会議の結論として「333-C地区アクティビティ資金の創設」が可決されました。

直ちにその場において、吉田ガバナーより右資金の運営を律する規則案策定を、本委員会と会則委員会との共同作業を進めるようにとの依頼があり、原案作成作業を現在進めております。

別記の規則案は未だ確定案ではありませんが、概要このような形で議論されている訳であります。

右規則案につきご意見があれば、是非委員会まで通知して頂きたいと存じます。委員会で検討いたします。

委員会の最終案は来たる3月1日の第3回キャビネット会議に提出することになります。右概略ご報告致します。

答 申 書

333-C地区ガバナー

L. 吉 田 政 勝 殿

1991年11月20日

地区アクティビティ資金（仮称）創設検討委員会

委員長 L. 小 泉 昭

[I] 結 論

当委員会は、ガバナーより諮問を受けた地区アクティビティ資金創設問題につき各方面から慎重に検討した結果、地区アクティビティ資金の創設を速やかに積極的に推進すべきであるとの結論に達したので、その旨答申する。

[II] 理 由

1. ライオンズクラブが存在意義の基盤としている社会奉仕活動の対象は、社会情勢の変遷と共に変化している。このことは日本社会の中においてはとりわけ鮮明である。

これを社会的ニーズの変遷と呼ぶことも出来る。今後訪れるであろう共同体的人間関係がより重視される時代においては、いかなる奉仕活動が求められるのか、今必ずしも定かではないがおぼろげには見えてきていると云えよう。

例えば、老人福祉および障害者福祉を中心とする福祉的対策、外国人単純労働者受け入れ問題対策などがこれである。

このような社会的ニーズの変遷に、ライオンズの



奉仕活動が的確に対応しなればライオンズの存在意義はないのである。

2. これらの変遷する社会的ニーズは、現在求められるものとは質的にも量的にも大きく異なる筈であり、地域の単位ライオンズクラブ活動のみで対応しうるものではないであろう。

将来の社会的ニーズを探り、それへの対応を考えてゆく態度こそキャビネットの使命であると確信する。

その一つの解答がアクティビティ資金構想である。またこの資金はそのような性格のものとして位置付けられることが至当である。

以上理由として述べたところが、当委員会が、アクティビティ資金構想の実現を答申する所以である。

[Ⅲ] 注意事項

1. この資金の名称は「333-C地区アクティビティ資金」とするのが適当であると思料する。

この資金は、ライオンズメンバーの拠出金をもって構成されるが、元利金ともアクティビティの実施にのみ使用されるものであり、地区運営費などに流用することは考慮していない。

その趣旨を明確にするため「アクティビティ」という言葉を挿入することが適当と思料する。いわゆるLCDFではその点が明確でない。

そこで冒頭の名称を提唱するものである

2. この資金の規模は、5年間の期間を目処に、少なくとも合計5千万円の資金が備蓄される程度のことを、出来うれば1億円を目標とすべきである。

時限立法として規約を策定するか否かも検討すべきである。

この程度の規模とならなくては、期待するアクティビティを実施することは出来なからうと考えるからである。

なおこの目的が実現できた暁には、その時点にお

いて社会的ニーズなどを再度勘案して、更に期間の延長および資金の増額等を検討するのが適当である。

3. 資金の拠出方法は、種々に考えられる。

先ず第一には、地区の全メンバーから毎年一定額を拠出して頂くことを基本とすべきであろう。その金額は1人当たり年額1200円（月額100円）程度を最低基本額とし、それ以上の金額を拠出するか否かは各LCの意向に任せることで宜しいと思料する。

第二には、メルビン・ジョーンズ・フェロー（MJF）に類する考え方を導入して、メンバーの篤志家から任意に拠出して頂くことも適当であろう。

その場合の単位数は5万円程度が適当である。拠出者に対しては何らかのアワードを考慮する方法もある。

第三には、この資金を獲得するための事業（例えばチャリティゴルフ）の積極的実施を呼び掛ける方法もあるであろう。

このような資金獲得方法を組み合わせて、目標金額獲得の早期実現に努力すべきである

4. この資金は、時のキャビネットの恣意的な運用に任せられることのないよう十分に監視されなければならない。

如何にしてそのことを担保するかが研究されるべきである。

例えば、この資金の運用を司る特別委員会を設置し、この委員会の委員の任期は3年とし、毎年3分の1の委員を改選することにより委員会の理念の継続性を確保すると共に、時の地区運営者からの直接的影響を排除するような方法もある。

またこの資金は年次大会の決議を経なければ具体的に使用できないようにしておくのも一方法であろう。

5. 以上の諸点に留意され、規約案の策定など具体的作業に着手されることを期待するものである。

333-C地区アクティビティ資金規則（案）

第1条（目的）

この規則は、ライオンズクラブ国際協会 333-C地区（以下地区という）アクティビティ資金（以下ACT資金という）を設け、地区としてアクティビティを実行するに際しACT資金の運用あるいは管理を行うに必要な事項を定めることを目的とする。

第2条（資金）

- (1) 1992年4月27日現在の金 円をもって基本資金とし、資金総額は1億円を用途にする。
- (2) 資金は複合地区会則第25条に基く地区特別会計とする。

第3条（委員会）

- (1) 資金運営のため地区にアクティビティ資金運営委員会（以下ACT委員会という）を設ける。
- (2) ACT委員会は、地区ガバナーが任命する委員21名を以て構成し、委員の任期は3年とし、毎年委員の3分の1（7名）を改選する。

但し、21名の委員の内7名は地区内各リジョンから推薦されたもの（リジョン推薦委員と称する）を地区ガバナーが任命するものとする。

なお規則制定後最初に任命された委員に限り、その内7名の任期は1年、他の7名の任期は2年、残る7名の任期は3年とする。

- (3) 委員会には、委員長1名および副委員長2名を置く。委員長および副委員長は委員の互選により決める。

委員長はACT委員会を主宰する。委員長に支障あるときは、副委員長がこれに代わる。

- (4) 委員に欠員が生じた場合は、地区ガバナーは直ちに補充任命をする。但し補充された委員の任期は欠員となった委員の残任期に限られる。

第4条（アクティビティの対象）

ACT資金を使用して実施するアクティビティは、ACT委員会において対象とすることが決議され、更に地区年次大会において承認されたアクティビティに限定される。

第5条（資金の運営ならびに報告）

- (1) 資金の運用、その運用額、方法等のACT資金の運営は、委員会の決議に従って行う。
- (2) 委員会の資金運営決議は、委員会の3分の2以上が出席し、出席委員の3分の2以上の多数決をもって行う。
- (3) 地区内会員あるいは単独クラブからACT資金運用の発案がなされた場合には、当該会員あるいはクラブが所属するリジョン推薦委員においてリジョンの意向を取纏めて委員会に発議するものとし、この場合には委員長は委員会を開催し、この発議について協議するものとする。会員個人あるいは単独クラブからの発議は認めない。
- (4) 実施されたアクティビティは、「地区ニュース誌」等により全会員に報告しなければならない。

第6条（資金の調達）

- (1) 地区内各ライオンズクラブは、1992年7月1日から2002年6月末日迄の各年度毎に、各年7月1日現在の在籍会員1名当り月額金100円の割合にて計算した金額（新たに結成されたクラブにおいては、結成日の翌月末会員数により計算する）を、本資金を積み増しするために新たな献金をする。右献金はクラブのアクティビティとして認められる。
- (2) ACT資金に1口金5万円以上の拠出をした個人あるいは団体は、ACT資金特別功労者として地区ガバナーから表彰される。

表彰の細目は別に定めるものとするが、表彰に



We Serve

要する経費はACT資金から支出する。

- (3) 資金から生ずる利息は資金に繰り入れる。
- (4) 委員会は、将来資金が著しく減少した場合その他必要に応じ、地区大会の議を経て会員の資金の再拠出を要請することができる。

第7条（監査）

資金は、複合地区会則第25条の適用により地区監

査委員の監査を受け、地区大会に収支を報告し承認を受けるものとし、期末の残額は次期に繰り越す。

第8条（施行および改廃）

この規則は、1992年4月27日から施行し、以後、地区年次大会において、出席した代議員の3分の2以上に当る多数によって改廃することができる。

財政特別委員会報告

委員長 L. 平井 勇

年度当初、吉田ガバナーより、地区財政の健全化のため特別委員会を設置するので委員長に就任し何かと検討してほしい旨の要請があり、特に会報地区誌の発刊に関して現状で宜しいかを重点的に検討願いたいとの指示があった。

地区財政の現況は、別記の答申書に記載した如く、健全な状態には程遠く慢性的な赤字が解消されていない。楽観的にも余裕がない状態と云わねばならない。

そのような状態が解消できない原因の解明はなされなければならないが、要するに財政規模が小さ過ぎるのである。しかしキャビネット運営の中に無駄がないか、心して洗い直しをして頂かなければなるまい。

会報地区誌の発刊に関する経費が、地区財政圧迫の一つの要因であることは否定できない。全予算の20%を超え見方によれば30%にも達している。

地区誌は会員とキャビネットをつなぐ絆であり、それ自体は益々充実させて行かねばならないが、その発刊経費を現状のままですとするか否かは別の問題であろう。今回は経費の一部を会員個人にご負担願う事にしたのであるが、委員会で諸般の問題を検討した結果、やむを得ない仕議かと考え、答申を纏めた次第である。具体的な問題については、別記の答申書にも記載したのでご参

照願いたい。

簡単であるが、委員会の報告とします。

答 申 書

平成3年9月4日

財政特別委員会委員長

L. 平井 勇

ライオンズクラブ国際協会 333-C地区

地区ガバナー L. 吉田 政勝 殿

諮問趣旨

地区の充実と一層の発展を期して活性化を計るために、広く情報を蒐集してPR効果を挙げて行きたい。その資金調達を含めて、地区財政赤字の解消につき検討審議を求める。

現況の検討

当地区の財政赤字は漸減の傾向にあるとは言え、健全化には程遠い。物価の上昇に追われ、行事の簡素化・経費の節約・雑収入の増加策などに鋭意努力を尽くしても、

赤字解消に到っていない現況である。

斯うした厳しい財政事情をカバーするための例外行為として、各地区は特別運営費（23 地区）・特別大会費（26 地区）・特別活動資金（10 地区）・会報地区誌負担金（13 地区）等々の徴収を行い、補強しているのである。

此等の例外費用の徴収は、飽くまでも特別事情の救済であって、原則的には妥当な措置ではない。従って多額に計上するとか、或いは恒久的に継続徴収することはさける必要がある。少額且つ長期に亘らぬことを配慮して実施すべきものと思考する。

答 申

諮問の趣旨を尊重の上、地区財政の実情等を検討して判断した結果、次記の通り答申する。

記

ガバナー諮問の趣旨の添い、「会報地区誌負担金」として、1 名当たり年額 1,200 円を徴収することを決議し実施せられたい。

説 明

- (1) 諮問の趣旨に適合する性質の負担金であると判断したこと。
- (2) これを実施している 13 地区の負担額 1 名当り最高は金 2,160 円、最低は金 240 円で、平均値は金 1,200 円である。中庸を得た適切な額として平均値を選んだこと。
- (3) この徴収の方法については、上期と下期とに分けて、それぞれ金 600 円宛を徴収すること。
- (4) 本件は年次大会の決議を要する。よって明年 4 月開催の大会に提案し、可決された時点で、本年度は(3)による金 600 円を徴収すること。
- (5) 此の答申による収入増は下半期において金 250 万円が振り込まれるので、所期の PR 活動費を充実して尚、若干の余裕を生ずることとなる。次期事業年度においては倍額の増収となるので、地区財政の健

全化に役立つこと。

- (6) 当地区の現行予算は、運営の合理化に配慮を加え、集約限度ぎりぎりに組立てられているので、極めて堅実ではあるが窮屈でもある。会員増加等による自然増収もあるにせよ、又、不測の失費の発生は必定である。財政はを充実して弾力性のあるものとする工夫が肝要であること。



We Serve

LCIF 所感



ライオンズ国際財団（LCIF）が誕生して20年になるが、数年前までは我々も、あまりその存在も認識していなかった。おぼろげに判り始

めたのは、故 小川清司Lが第三副会長に就任し、おりにふれてLCIFの必要性を説いた頃で有ったが、その頃はどちらかとゆうと、何となく醒めた目でみていたよりは、むしろ批判的な気持ちの方が強かった。何故ならば、数年前の東洋東南アジア・フォーラムの分科会で発展途上国の会員が“国際協会は糖尿病や麻薬対策を一生懸命にやっているが、自分達には無縁の問題だ。むしろ我々の子供たちは、いま飢えている。食べ物はずが欲しい。LCIFは同じ地球上の我々の事、発展途上国のことをもっと考えて欲しいと”訴えたが、全く同じ考えであった。

麻薬対策も、糖尿病も大切なことではあるが、これらの事は、豊かな国の人達が悩む問題で、自分自身の認識、管理によって解決出来る問題に、何故多額の金を我々が援助しなければ成らないのか？。

糖尿病は、遺伝的に個人の意志にかかわらず、体質的に遺伝されるものでは有るが、個人が己の体質を認識し、自己管理を計れば、糖尿病が原因となって誘発してくる色々の病気を防止することも可能で有るし、麻薬とて意志が弱く、より以上の享楽を求める自己管理破綻者が、誘惑に負けて麻薬中毒者となるのであって、いくら防止

LCIF・国際協調 委員長

L. 山内 克己 (成田LC)

対策を計っても供給者が存在する限り、永遠に解決出来る問題ではない。

私も、糖化値がたかいから、このままでは糖尿病になる恐れがあると、診断されたので自己管理を計り、体重7キロ減らして防止対策をしておく。

こんな批判的な考えを持っておる者を、吉田ガバナーはLCIFの委員長委嘱してきた。始めは断ろうと思っていたが、セントルイス国際大会の決議事項を検討して見て、“まてよ”と思ひ止まり、何か役にたてばと役をお引き受け致しました。

視力フォーストの事業計画に、糖尿病からくる失明対策から一步進んで、貧困からくる眼病失明防止を重点的に取り上げてきたからであるこれならLCIFの重要性が納得できる。全世界人口52億人の1割に当たる5億の人達が、慢性的飢餓に陥っており。貧困からくる不衛生とビタミン不足からかかるトラコーマ、白内障、緑内障、糸状虫症、眼球乾燥症等にて、四千万人が失明に苦しんでおる。何か役に立つ事が無いだろうか。

もうひとつ、LCIFの有り方に日本ライオンズとしては、考える時期にきて居るのではなからうか。全会員の11%の日本がMGFや献金額で60%以上をしめておるのに、供給される人達からは、全く認識されておらない。その理由は。

日本ライオンズはバーデン・シェアリング（負担の分担）は全世界に突出しておるが、デシジョン・シェアリング（意志決定の分担）では無関心のきらいが有るが、これでよいので有らうか。

負担金を多額に分担しておるのだから、援助金の配分の権限を部分的に委譲してもらふべきではなからうか。

その為にはLCIF執行委員としてのアポインティのポストを、毎年日本ライオンズの会員が獲得する様に努力すべきである。

LCIFの寄付金は、ほとんどが無指定献金が日本の現状である。我々とすれば、援助交付先が献金者の人生観、価値観として反映して欲しいのだがなかなか思う様には行かないのが現状であるが、これは日本レベルがLCIFに対して、総て貴方まかせでは無く、日本独自のアイデアを作成して、それをLCIFの理事会に申請し、実行して頂く様に努力すべきで有る。その様になれば献金する我々も喜んで参加すると同時に、我々が献金した金が、我々の意志に沿った奉仕につながるのである。

LCIF献金にたいして、よく聞く反論は“LCIFの使い道がよく判らない。何の報告も無い。日本には見返りが無い”などで有るが、これもPR不足と同時に、皆さんがもうすこし関心を持てば、少しは遅れるが使用明細もライオン誌にて報告されておるし、日本の災害等にも少ないが援助金が送られて来ております。

よく私の家にも、他国のライオンズ・メンバーが立ち寄りますが、彼らの話を総合すると、

- (1) LCIFにたがくの献金する日本ライオンズに敬意を表するが、経済大国だから。
- (2) 我々のクラブでは、納得の行かない事に対しては、1\$も献金しない。奉仕は我々の意志にて行う。
- (3) LCIFの主旨は納得しておるが、もしも我々の立案した奉仕がLCIFより価値が有るならばMGF (メルビン・ジョンズ・フェロー) の勲章よりも、そちらの奉仕を優先する

このような返事が多い。これらの事を総合すると、日本の40%は納得出来る。

どちらの考えが良いのかは、個々の意識の問題で有るが、彼らは日本人と違い、自分の主張は、けっして妥協しない。口から泡をとばして口論する。

日本ライオンズの、いや日本人の一番欠けているのは、

世界各国に対する認識不足では無かるうか。めんどくさい、やったって仕方がない。経済大国などと言われていても、一人一人の生活が忙しいから、心にゆとりがないのかも知れないが、今はグローバルリズム (世界関与主義) と言われる時代。相互依存の度合いが非常に高まっている。

例をあげれば、環境問題がある。いまや地球規模の問題として論議されてきておるが、今までのように総ての事を対岸の火事として見ておる事は出来ない時代になっている。

彼の国の不幸は我が国の不幸に繋がる。しかし、どんなに頭の中で考えて見ても、所詮個人の能力、財力はたかが知れておる。

ここで、何かが出来るのがライオンズの組織と力である。そして其を支え実行するのがLCIFと煮詰めていくと、決して批判ばかりではいけないので有るが、やはり日本のライオンズは、もうすこしデシジョン (自分の考え) をもって、例えば、いま内乱が起きているユーゴスラビヤからの難民にて、国内の財政が破産しかけているハンガリーに何々をしようとか。具体的なアクティビターをどんどんLCIFに申請していけば、日本ライオンズも、もう少しイニシアチブを取れるのではなからうか。

今までは、無指定献金で無ければMJFの対象には成らなかったが、視力ファーストに限り、指定献金でもMJFの資格対象になりつつ有ることは、喜ばしい点で有る。



We Serve

国際協会經常的奉仕活動

—薬物乱用防止千葉県民大会開催の提言—

地区薬物乱用防止・糖尿病教育委員長

L. 渡邊 瑞 男 (船橋東LC)



全世界 40, 104 のライオンズクラブが等しく実践しているか否かの真疑の程は別として、以下に掲げる分野の奉仕活動は、国際協会の經常的奉仕活動として継続

されなければならない分野である。

かなわち、薬物乱用防止、糖尿病教育、視力保護盲人福祉、聴力保護言語障害者福祉、環境保全、レオプログラム、ライオネスプログラム、国際関係プログラムに関する奉仕活動である。

この分野の活動が、国際的な奉仕活動として展開されなければならない理由は、1983年から7年間にわたって国際協会の主要国際奉仕活動として取り上げられてきた「薬物乱用防止」と「糖尿病教育」に代わって1990年7月から1996年6月まで、「視力ファースト」が取り上げられることになった。

盲人その他視力障害者への援助は、1925年、オハイオ州セーダーポイントで開催された年次大会で、ヘレン・ケラー女史が、「盲人の騎士」になってほしいと援助を訴えて以来、66年の永きにわたり奉仕活動の灯が引き継がれたライオンズの主要な奉仕活動であったが、前途のとおり「視力ファースト」が代わって国際協会の主要奉仕活動となったため、薬物乱用防止・糖尿病教育以下

国際関係プログラム(クラブ会則付則第四A(2)事業委員会(a)～(i)までが国際協会の經常的奉仕活動として継続されなければならない分野である。

この分野の一つ、薬物乱用防止については、麻薬撲滅運動と言う全国的な大きな波のなかで、私達の身の回りに迫ってきており、国際的にも国連が1991年から2000年までを「麻薬撲滅の10年」と宣言し、麻薬撲滅に向けて世界的取組みが開始されたことはクラブメンバー等しく知るところであろう。ライオンズ国際協会では、それに先がけること8年前、1983年からこの問題に取り組み、全世界のライオンズが活動を展開してきたのであるがその成果はいまひとつといったところが実態であろう。

麻薬(ヘロイン・コカイン)について知り得た知識について言及すると、麻薬とは法律上の用語であって、厳密な意味での医学用語ではない。したがって、国によって麻薬に指定されている麻薬に違いがある。例えば、日本ではコカインは麻薬に指定しているが、アメリカでは指定していないし、WHOでは大麻とこれに類似する薬物を麻薬と呼ぶが、日本では別に大麻取締法で規制している。また、乱用されやすく、社会的問題を引き起こしやすい薬物をすべて麻薬と考え、シンナーや覚せい剤なども麻薬と誤解してしまう人もいるが、これらの薬物はそれぞれ麻薬とは別の法律で規制されているということを知得した。

ところで、日本の麻薬取締法は厳重であり、これまでのところ麻薬の乱用は非常に少なく、外国では大麻に次

いで、日本で麻薬に指定されているヘロインとコカインの乱用が持続的に拡大しており、日本でもこれらの薬物の押収量は平成元年で史上最高となった。これらのことを考慮すると、今後、日本においてもこれらの薬物の乱用が広がる可能性は高いものと判断できる。

以上のことから考えると、対岸の火事的傍観は決して許されることなく、国際協会が提唱している「国際協会の経常的奉仕活動」のうちこの分野の活動を地区内各クラブが真摯に取り組まなければならない問題である。

先般実施したアンケートによると、単位クラブにおけるこの分野の委員会を設置している実態は少なく、地区全体で44%という低いパーセントであり、認識、意識の高揚を期待したい。アンケートの結果を金科玉条とする考えは毛頭ないが、リジョン単位、地区単位に表わし皆さんの奮起を促したい。

(1)薬物乱用防止・糖尿病教育に関する委員会の有無。

(%)

A \ R	1	2	3	4	5	6	7	地区
ある	19	33	33	27	60	100	38	44
ない	81	67	67	73	40	0	62	56

ところで、サブタイトルに掲げた「薬物乱用防止千葉県大会」の実施に向けて提案するので、拙文ご一読のうえ一人でも多くのライオンのご意見を賜りたい。

この分野の奉仕活動が低迷する第一の理由は、専門分野があまりにも複雑すぎること、第二には、他のアクティビティ、例えば、LCIF 1000ドル献金。YEプログラム、レオプログラム、ライオネスプログラムといった分野と異なり、華やかさもなければ、直ちに結果(効果)がでるといった性質のもでもなく、大変地味でどこから手をつけて良いのかわからないといったこともある。そこで、各クラブの事業委員会(関連委員会を含む)から2~3名の委員を派遣していただき、地区に実行委員会を設置し、県内関係機関とタイアップし、また後援をいただいで実施すると言う案である。

関連機関にはどのような組織があるか思いつくまま列

挙すると以下の組織・機関が考えられる。

厚生省、千葉県、千葉県薬物乱用防止対策推進本部、(財)麻薬覚醒剤乱用防止センター、千葉県警察本部、千葉県防犯協会連合会、(財)千葉県青少年本部、千葉県麻薬中毒者相談員会、(財)千葉県医師会、(社)千葉県薬剤師会、(社)千葉県薬種商協会、千葉県医薬品卸協同組合、千葉日報社等々枚挙に遑がない。ほかにご存じの団体があればご推薦いただきたい。

これらの機関、組織、団体に共催またはご後援を願って実行委員会を組織し、各クラブが20名の参加者を募り大会を開催したなら1800名に及ぶ大県民大会が実施できることになる。

この種の大会は、335-A・B・Cの各地区においてはすでに実施されており、333-B地区においても栃木県大会が実施されたいという報告がある。

ライオンズクラブのモットーは、We Serveであり、奉仕こそ我々の生命であり、使命である。創立者メルビン・ジョーンズも「同胞愛は、お互いに信頼して尊敬しながら生活し、共同し、食を分かち合うところに存在する」と言っている。

冒頭に述べたとおり、ライオンズ国際協会の主要国際奉仕活動は「視力ファースト」に代わり、パートナーにLCIFをセレクトし、WHOとの密接な協力のもと奉仕活動が実践されるが、加えて先の経常的国際奉仕活動の項目のうち「薬物乱用防止」の分野についての奉仕活動も333-C地区の継続アクティビティとして、代々受け継がなければならないと考え、一案を提言した次第である。地区内各クラブをとおして、県民運動にまで盛り上げる努力をしなければならないと考えるのは一人私のみではないと確信する。

この分野のアクティビティは、クラブ会長が代わっても、地区ガバナーが代わっても、形態は変わることなく、「国際協会の経常的奉仕活動」として国際協会が提唱している間は、継続不変の奉仕活動として実践されなければならないと考えるからである。



We Serve

リジョンの頁

3R

新ライオンズクラブ結成に参加して

千葉幕張メッセLC

会長 L. 白井 日出男

人生すべからく“人とのふれあい”だとつくづく感じる。
私のライオンズクラブ入会、しかも新設の千葉幕張メッセライオンズクラブの初代会長の大役をお受けするに



たる経過も、人生のふれあいの妙と言えるだろう。

ご承知の通り、私の兄、白井一世は伝統ある千葉ライオンズクラブのメンバーで、方や父の荘一は生前はロータリーのメンバーであったので、父の亡き後はバランス上ロータリーに入る事になるのか…などと漠然と思っていたが、国会議員の仕事が忙しく、何となく今日に至った。

最初に声をかけてくれたのが千葉高の一期先輩の、私の剣道の先生でもある、現千葉ライオンズクラブ会長の霜礼次郎ライオンだった。

かつて千葉青年会議所のメンバーとして青春を謳歌した事もある私も、卒業してからはこうしたクラブメンバーの楽しさからも遠ざかってしまい、まして会長職のような重責はとても無理と考えて、固辞していた。

しかし霜先輩の熱意には、押されがちだった。

実は我々運動部の先輩後輩の絆は、経験のない方には想像もできない程強いものがある。技術や精神を教える

者と教えられる者とを結ぶ師弟の信頼の絆である。

度々の説得に負けて、メンバーの一人に加えさせて頂く事となった次第である。

発会式も先輩ライオン諸兄のご尽力でどうやら無事に終えて、いまチャーターナイトに向けて、頼りないながらも歩みを進んでいる今日である。

私が、発会式の際にも、またその後も度々挨拶の中で述べているのに「我々千葉幕張メッセライオンズは、素晴らしいメンバーに恵まれて幸運なスタートを着ることができた。しかしこれはスポンサーである千葉ライオンズをはじめとする先輩の皆さんのご努力のお陰であり、これから良いクラブ運営が出来るかどうかこそが、我々の努力に掛かっている。」という言葉がある。

結成後の会員拡大も、今一つ思うにまかせず、思いがけない問題も起きたりしているが、人生の中で縁あって同じクラブで友情を培い、奉仕活動に尽くす事となった私たちは、一日も早く一人前のライオンとして先輩諸兄のお役にたてるように、頑張っていきたいと考えております。

皆様の今後共のご指導を、心からお願いする次第です。



ライオンズクラブとは

地区ルテナントガバナー

L. 矢田 常吉 (千葉中央LC)



私たちは多くの会や団体に加入しています。職業の会や団体、学校の同窓会、出身地の会、趣味や信条の会、地域の町内会や親睦会などなど、小さいものから大きいものまで、数えあげれば20や30は下ら

ないでしょう。そうした数多くの団体に比べて、ライオンズクラブはどこが違うのでしょうか。その相違を知ることで、ライオンズに対する運営や理解もわかりやすくなることだろうし、また私たちのライオンズクラブが、いかに素晴らしい組織をもった団体かという再認識にもなるのではなかろうか。そんなことを考えて、ライオンズクラブとほかの団体との相違点を考えてみました。

〔1〕 会則第2条に「世界の人々との間に相互理解の精神をつちかい……」からはじまる、6つの目的をもっています。

〔2〕 そのほかに「ライオンズ道徳綱領」があって、これを1年1回、「ライオンズクラブの目的」とクラブの歴史とともに強調することになっています。

〔3〕 入会したいと思っても、すぐにはできません。善良な徳性の持ち主で、声望のある人なら男女を問わず誰でも入会できるのですが、推薦によりクラブ理事会の承認を経て、クラブから本人への招請によってのみ、入会することができます。

〔4〕 例会はもちろん、すべての会合に本人の出席が必要です。社長が出席できないので、代って総務部長が出席するというようなことはできません。また決議のと

き、委任状によるなどということは認められません。

〔5〕 メィキャップ規則があります。例会に出席できなかった場合、例会に出席したのと全く同じだと見なされる規則です。

〔6〕 クラブは会長、副会長、前会長、幹事、会計、理事などの役員（理事会）によって運営されます。

〔7〕 役員はグッドスタンディングの正会員でなければ選出されません。

〔8〕 役員は幹事を除いて報酬をうけてはなりません。

〔9〕 理事会がクラブの執行機関です。すべての責任をもちます。集団指導体制です。あらゆる企画や施策は委員会に付託して答申を求め、それに基づきクラブ例会に提案して、承認を得てから実施します。

〔10〕 会長はクラブの最高執行者です。会社の社長の様な責任や権限は少ないようです。

〔11〕 すべての会員は何れかの委員会に所属しています。

〔12〕 会合をいつも楽しくするために、テールツイスターという役職があり、また会場設営などプロデューサー役としてのライオンテマーがあります。これらは何れも例会を重要視したものだと思われます。

〔13〕 役員任期の一部を除いて1年です。実際に1年でほとんど交替しているようです。会員は何れも有能な方ばかりですから、同一人が同一役職に重任する必要はなく、埋れた人材を発掘し、新しい経験を得させることで、クラブ全体のレベルアップを図ろうとの考えのようです。

〔14〕 代議員制度があり、各地区大会、国際大会などに、出席することになっています。

〔15〕 すべての議事運営の進め方は、ロバート議事規則によります。



We Serve

〔16〕 会員は社会的地位、ライオンズ歴の長短、役職などに関係なく、すべて平等です。

このようにクラブ運営は小集団ごとに、全員の参加、意思交流、決定が行われ、「一人の英雄もなく、一人の非協力者もない」きわめて民主的に運営されます。

〔17〕 会員はほかのライオンズクラブの会員になることはできません。また同じようなほかの奉仕団体の会員になることもできません。

〔18〕 幹事は国際本部、地区ガバナーに所定の月例報告書を毎月提出します。

〔19〕 会員は定められた会費を納入しなければなりません。会則で定められた納入金以外のものを課したり、請求することはできません。

〔20〕 会費の納入を60日以上怠ったとき、また連続4回以上例会に欠席したときは、理事会はその会員の進退について協議の対象とします。

〔21〕 会計は会計報告書を毎月クラブ理事会に、国際本部には半期ごとに提出します。

〔22〕 クラブは目的に反する支出をしてはならないし、債務を負ってはなりません。すべての支出は理事会の承認を要します。

〔23〕 事業によって得た資金は、クラブ運営のためにつかってはなりません。

〔24〕 会合中などで臨時支出の要請提案がなされた場

合は、すべて財務委員会に付託します。

このように金銭、会計ののこについては、細かくきびしく定められています。組織は常に財政的基盤・制度が確立されてないと、安定、永続発展はないからです。

〔25〕 クラブは公職の候補者を後援、推薦してはならないし、またいろんな会合で政党、宗教について討論してはならない。

〔26〕 会員は個人的、政治的あるいは営利のため、その他の野心のために、会員であることを利用してはならない。

〔27〕 他のクラブ、会員に対し、資金、物品、援助などを求めてはならない。

〔28〕 会員でない者が会合の席で会員から寄付を求めてはならない。

〔29〕 ライオンズの名稱、紋章、標識は、定められたこと以外にみだりに使用してはならない。

〔30〕 1クラブはおおよそ50名前後の会員のようです。会員をふやして多人数のクラブにするよりも、別に新しいクラブを結成することが普通のようなようです。

まだこのほかにも相違点はあるかも知れない。みんな知っていることばかりかもしれない。しかし知っているも実際に運営面で行われていなければ、ライオンズクラブもほかの団体と同じような、親睦団体になってしまう。

「悪貨は良貨を駆逐する」 (トーマス・グレシャム)

3 R I Z - Z C 吉川佳彦 (佐倉LC)

日本にライオンズクラブが創立され、四十年を経た今日、本邦はカナダ、ヨーロッパ等のライオンズ先進国をさしおいて、アメリカに次ぐ世界第二位の会員数とクラブ数を有する国に急成長致しました。各地に数多くのクラブが誕生し、ライオンズ人口が増加することは欣ばしい事である反面、この状況が続くと大きな歪となって表

れる事は必死と考えられ、又現に、かかる現象が表れて来つつある事は誠に憂慮すべき事と存じます。

例えば日本の今年度の会員数は総数的には増加しておりますが、十月の会員増強月間には増加し、六月度には994人の入会者に対し、3123人の退会者が発表されております。これは年度末に出席率が悪く、又会費を滞納

する会員を整理し、次の年度にノーマルな姿で申し送る配慮と、又各種アワードに関係が少ない事を考慮して、この月に集中する事と考えられます。又この退会者の半数以上が二・三年未満の在籍者で占められている事実があります。ドイツなどヨーロッパのライオンズクラブでみられる如く、入会希望者に対しては、十二分のオリエンテーションを行い、たっぷり時間をかけてクラブで選択し、そして招請された人のみを会員とする事が肝要と存じます。入会時のスポンサーの責任も重大で、又入会後の教化、その他オリエンテーションは、エックステンション以上の努力が必要と思われまます。

私はライオンズクラブの会員は、すべて選ばれた人だけで構成する様に心掛け、真にライオンズの目的に向けて歩みつづける事が出来、知性あふれる人々が集まる団体であるべきと存じます。しかし決して閉鎖的な組織にならぬ様留意しつつ、入会基準は、その人のもつ職歴でも、資産でも又学歴でもなく、要は会員にふさわしい知性の所有者であればよいのであります。この意味でのエリート意識をもつことが必要で、そして一般社会より、その様にみられる事が肝要でありましよう。

無秩序な会員増強は、「悪貨は良貨を駆逐する」と云うグレシャムの法則ではないが悪循環をくりかえし、ライオンズクラブの栄光と社会より受けている高い評価が失墜する事になると思考します。



又キャビネットの役員及び各クラブ三役もその地位につくと、従来より自分が懐いていた理念を、その役目のために見失しないがちになり、会員の増強及びアクティビティの量の多少に又、各種アワードの受授などについておおくの精力を使うのではないのでしょうか。

ことわざに「人肥えたるが故に貴からず、智あるをもって貴しとす」とある様お互いに十分に留意する必要があるまいましよう。

メンバー各位は、いたずらに会員増強に執着奔走することなく、着実にライオニズム高揚のため精進しようではありませんか。

雑 感

3 R. 2 Z. ZC

L. 中村 勝 和 (千葉LC)



Z. Cに就任以来、早くも半年が経過し当ゾーンにとって小生がどれだけ役にたつことが出来たのかと、考えるときに正直云って全力投球のつもりであるが、よ

くはわからない、がしかし一歩でも前に出ることが出来たのではないかと考えている。

少しばかり紙面をおかりして、感じたままを述心させていただく事にした。

当ゾーン内のメンバー数は新生千葉幕張メッセL. Cの誕生もあり大幅な伸びを示しているが、反面カネやタイコをたたいても、なかなか新メンバーの獲得がままならず若干のクラブにおいては伸び悩みも感じられ、さら



We Serve

にスリーピングメンバーの処置について各L. Cの苦勞は続いている。

本来的にメンバーの友和のうえに成り立つ「アクティビティー」もマンネリになっていないか？マンスリーレポートを毎月読ませて頂いていると、表には見えない本当の数が目に見えて来るように思える。世の中はバブルがはじけて困っているが、ライオンズクラブはこれにお伴をすることは困る。

いろいろなことを考えるとき、ライオンズの獅友（友であり師であった）の故L. 柴田、L. 藪田、L. 三輪、L. 石橋、L. 式場、他の現世に別れをつげた友との29年前の出会いが思い出される。クラブの追悼例会で読経のとき、ふと見上げると写真の仲間が笑って「ナーさん、あんたは若いなー、まだまだ頑張ってくれよ」といっているように自分に語りかけて来る。よし、又頑張るぞとネジをまきなおす。

第2回のZ. Cの各クラブが公式訪問は年末の各L. Cの忘年家族例会に行われることになった。知った顔、知らない顔、皆笑っている楽しそうだ、「ライオンズは一つ」//何時の間にか、肩の重みが軽くなったのに気がついた。各L. Cの継続ACTも「身障者ビームライフル大会」「エルピザの星」「親子写生大会」「タイ国コスモポリタンL. C合同給食ACT」すべてが順調に消化されてきたことは、実に素晴らしいことだ。

新生「千葉幕張メッセL. C」もチャーターナイトに向かって、全力で走っている。

きっと新時代のC. N. がなされるに違いないと確信している。

新しい年度は当ゾーンより地区ガバナーが選出される。残る半年、皆さんの力をあわせて一緒に歩ませて頂きたいと祈願し、まとまりのないお話を終了させて頂く事にした。

合 掌

C.N. 25周年記念式典を開催して

佐倉LC 会長 L. 丸 島 富 夫



去る十月二十七日、佐倉ライオンズクラブがC. N. 二十五周年記念式を開催しましたが、多数のブラザークラブより300余名、中華民国台北ノースクラブより40余名の友人

をお迎えして、式典は皆様方の熱意あふれる励ましに支えられ、盛大に催すことができました。

心より感謝申し上げます。

「友情の絆で拡げる真心奉仕」ご存知の通りこの言葉は吉田地区ガバナーが示した、今年度事業のスローガンであります。ご挨拶の中でこのことにふれ、人の交わ

りがとかく疎遠になりがちな今日の社会において、友情の絆を大切にすることが、ライオニズムの原点であり亦人への思いやりの心が奉仕活動の原動力であると縷々その心情を披瀝されましたが心打つものがあり感銘を受けた次第であります。

記念の事業には次の七件のアクトを実施しました。

1. 市民憲章の碑
1. 腎移植情報センターにスライド一式
1. 市指定文化財の説明板
1. 印旛沼サイクリングロードに桜の植樹
1. 佐倉市外二町消防組合音楽隊に楽器
1. ボーイスカウトに金一封
1. LCDF基金に金一封

今後も引続き奉仕活動に邁進する決意であります。

祝宴にあっては皆様楽しく通していただきましたが、共に酒を酌みかわし、共に語らい、時には旧交を温め、時には励まし合い、時には新しい友情を育み、フィナーレには、300余名が手をつなぎ輪をつくり、また合う日までを共に歌い、共に別れを惜しみつ、解散したのですが、この友情こそがライオンズムの醍醐味ではないかと感じた次第であります。



ライオンズマンの誇り

四街道LC 会長 L. 中澤寛義

私達は「社会奉仕をする」ということが、ライオンズマンとして最大のテーマであるとしたら「社会奉仕」という意義を考えてみたい。この言葉の内側には健康と経済的にある程度恵まれている事と、人々を愛する心が裏付けとして備わる必要がある。

即ちこの三つのうちひとつでも欠けたら「社会奉仕」という意義をなさない。

日々、健康に生活できるということ

日々、ある程度の余裕を持って生活できるということ

日々、人々を愛する心を持って生活できるということ

この条件を持ち合わせたことに感謝する大きな心を持って、日々社会奉仕をするということがライオンズマンに与えられたテーマだと結論されるならば、ライオンズマンとは何と幸福でライオンズクラブとは何と素晴らしい組織なのだと思う。なぜならば私達人間はこの目的のために日々生きているからではないのだろうか。

従って、この組織に入会したらどのような状況下でも、会員を継続することが会員として与えられた義務ではないという声が聞こえてくる。

万一健康を損なった場合、一時休会しても充分休養をして又健康になったら元気な顔を例会場で見せて下さいと思う。

このような多様化した社会の中で一企業を絶えることなく健全に営むということも大変なことだと思うし、そういう時は一企業人に戻って本当に頑張ってもらいたいと思う。

人が信じられない心の病に陥ったら旅にでも出発して大自然との触れ合いの中で人間性の回復に努めてもらいたい。その期間休会してもそれを優しく見守れる、いたわりの心が必要だし、そのいたわりの心を必要としている人々もいることを忘れてはいけない。だから、私達は今、各地域のライオンズという組織の中でライオンズマンとして活動しながら吠え立てることに、強い誇りを持つことが出来るのではないだろうか。最も近くにいる仲間や家族や地域の人々にいたわりという奉仕ができなくて何で外側の遠くの人々に奉仕ができるのだろうか。

そして私達ライオンズマンの吠え立てている声が地域社会のなかで、どれだけ多くの人々に聞こえているのだろうかということに注意深く、観察してみる必要がある。意外と遠吠えは聞こえるがその所在を確認した事がないという人が多いかもしれない。

組織の評価を一人でも多くの人々にしてもらえることは、その組織をより一層強化なものにしていくものだと思う。

地域社会から離脱しない組織にとって一番大切な事だと考えている。



We Serve

地域社会の多くの人々と共に歩むライオンズでなければ、この組織の力を発揮することが出来ない。ライオンズマンだけのライオンクラブではないという認識が地域社会のライオンズクラブなのだという自覚をもたせてくれる。

この両者の接点が価値となって、この価値観に対して私達は強い組織の存在を知ることが出来て、誇りを持っているのではないだろうか。

現在、金満日本と言われている中で私達は人間として大切なものを失いかけている。心の中に吹いている冷たい風をどうしても止めることができない。いつも心の中のどこかに存在していた熱いものが日々、冷めてくることに戸惑う。

見聞きしていたことが即ち感動であった筈なのに見るもの聞くことに無感動になり心の空虚感を拭いされない。



この変化に焦りを覚えていたことがそれがいつの日か焦ることさえ忘れて行く。家庭も学校も社会もお互いの信頼を失い、あなたにとって本当の友人は誰ですか。何人いますか。と質問された時に明確な答えがでない。

今、地域社会はライオンズマンの優しい眼差しを求めている。人生の羅針盤を失った若者には、北の方向を指差してあげれば良い。どんなことでも経験したことは、財産になって還元されるものだとさえ言えば良い。どんな経験でも取り返しのつかないことはするなと教えれば良い。人生とは砂漠の中を歩いているようなものだと思えばいい。

其の時にオアシスがあって、そこに同じ人間がいたらその人が己にとって計り知れない大切な人だと思うならば、今知り合っている人々を決して疎かにしてはいけないと気がつく筈だ。

満ち足りていることが当然と思えば感動が遠くに行く。迷えて声を待つ人々に近づいて声をかける奉仕がこんなに必要な時代があったのだろうか。

人間が人間をこんな疎かにした時代があったのだろうか。

私はライオンの優しい遠吠えが近づいて来て、足音が聞こえて声をかけてくれることを待っている人々がいるという事がいつも心から離れない。

千葉幕張メッセLCの結成と 身障者を国体へ送って



我がクラブの本年度の運営スローガンは、親睦・友情・発展・飛躍と、やや欲ばったものであった。即ち、クラブ内の親睦、友情をより一層図り、70名

千葉LC 会長 L. 霜 礼次郎

のメンバーが一丸となって、ライオンズの高揚により事業を発展、飛躍させようというものであった。

その事業の一つは、発展する幕張メッセ地区に新しいクラブをエクステンションする事であった。前年度より実行委員会を作り、目標を達成するべく、綿密な計画を実行していった。そして遂に、39名をメンバーより推薦して頂き、10月17日に結成式が挙行された。その模

様は、前号に北村Lより報告されました。

二つ目の事業は、「身障者を国体へ」というキャッチフレーズで始まった、身障者チームライフル大会であった。10年前の国際障害者年には、千葉身障者チームライフル大会であったものが発展して、全日本身障者チームライフル選手権大会となった。この間に2人の選手が健常者の国民体育大会に出場し、立派な成績を収め、目標を達成したのである。この永年に亘る業績が認められ、本年初めて文部省の後援を得た。これは千葉LCの事業として、二重の喜びでした。10回記念大会の式典には、井上前文部大臣、臼井前文教委員長、松戸千葉県体育協会会長、地区キャビネット渡辺幹事、日本ライフル射撃協会安齊会長、他多数のご来臨をいただき、お祝いの言葉を頂戴し、盛会に挙行された。10年間のご協力に、心より感謝申し上げます。

身障者の残された機能を発揮してスポーツに取り組み競技する事は、身障者が社会に平等参加する意味で、大変意義深く、身障者にも、そして又、いつ身障者になるか解らない健常者の我々にも、力強い大会であった。今後は、各地で本大会が行われる事を願ってやまない。

千葉日報

荻原 (桜ヶ丘) 初女王に

「少年」は八木沢が初V

全日本身障者チームライフル射撃選手権大会(第4回全日本身障者チームライフル射撃選手権大会)が、8日、県総合運動場射撃場、射撃ライオンクラブ、日本ライフル射撃協会主催)は7日、8日、県総合運動場射撃場、射撃ライオンクラブで行われた。7日は少年、少女が競われ全国の養護学校から46人の選手が参加した。少年の部は八木沢選手(茨城・下妻養護)が196点の高得点で初優勝、女子の部は荻原幸子(桜ヶ丘)が初女王に輝いた。8日は成年の部が争われ、山田勢勢は宮本日出子選手(神戸)が398点の高得点で初優勝、女子の部は荻原幸子が386点の高得点で初優勝した。国際障害者年に、障害者を国体へのスローガンに掲げて開催したこの大会は、当初は千葉身障者チームライフル射撃大会として予定されていたが、競技人口の拡大に伴って、大規模な「国体」から「全日本」へと進展、今大会からは文部省後援の大会として認定された。

競技に先立って7日午後5時から、千葉市・ロイヤルホテルで開かれた「10周年記念式典」には、井上前文部大臣、松戸市三木体育協会会長の祝辞、安齊次郎千葉県ライフル射撃協会会長、増礼次郎千葉ライフル射撃協会会長のあいさつの後など、お祝いの言葉を頂戴し、盛会に挙行された。10年間のご協力に、心より感謝申し上げます。

- ◇成績▽少年の部 ①八木沢 196点 ②青山 194点 ③栗原文彦(水戸) 194点 ④東宏之彦(下妻) 193点 ⑤田崎幸男(袖ヶ浦) 188点 ⑥田中幸生(桜ヶ丘) 188点 ⑦池田二(四街道) 187点 ⑧増田伸一(下妻) 181点 ⑨吉岡大樹(桜ヶ丘) 181点 ⑩久保谷和幸(水戸) 176点
- ▽少女の部 ①荻原幸子(桜ヶ丘) 194点 ②右嶋まどか(下妻) 188点 ③川上亜江(桜ヶ丘) 178点 ④村みゆき(下妻) 176点 ⑤酒宮千恵(桜ヶ丘) 171点 ⑥浅田智美(同) 161点 ⑦清水千晴(同) 158点 ⑧伊藤紀子(同) 122点 ⑨桜井由香(同) 116点 ⑩石嶋マリア(下妻) 111点
- ▽自由姿勢の部(成年) ①宮本日出子(神戸) 398点 ②日本新の吉田信吾(同) 396点 ③高橋洋(東京) 391点 ④出雲ヒサ子(けやき) 390点 ⑤更家慎三(神戸) 384点 ⑥武内すみ(高知) 376点 ⑦井上保子(けやき) 375点 ⑧森陽子(神戸) 374点 ⑨榎崎洋一(同) 370点 ⑩川田俊(同) 367点
- ▽射撃(成年) ①更家慎三(神戸) 386点 ②宮本日出子(同) 381点 ③高橋洋(東京) 380点 ④牧野裕一(けやき) 375点 ⑤出雲ヒサ子(同) 371点 ⑥武内すみ(高知) 360点 ⑦森陽子(神戸) 351点 ⑧吉田信吾(同) 349点 ⑨榎崎洋一(同) 343点 ⑩川田俊(同) 339点



集中力を高め標的を狙う選手たち—県射撃場



We Serve

クラブ運営、前年の経過を顧みて

市原南 LC 会長 L. 御園生 孝



光陰矢の如しとか月日の経つのは真に早いもので既に本年度後半に入った次第です。

顧みて前半頭初に年間計画の策定に当り、前年度 25 周年行事を経た当クラブはその継続性と斬

新的効率化を念頭に先ず会長方針を確定し以下所定項目毎に具体策を策定した次第ですが、一貫してガバナーのスローガンを旨に地域の実情を即した運営を図り健全な青少年の育成並びに社会奉仕活動を積極的に推進してクラブの充実を祈念して参りました。尚本年度は当クラブより ZC が選出されましたのでホストクラブの自覚を以て対処し即ち 8 月 20 日の第 1 回ガバナー諮問委員会及び 9 月 22 日のガバナー公式訪問合同例会を夫々当例会場に於いて開催し直に 12 月 14 日第 2 回ガバナー諮問委員会を京成ホテルにて行い CAB 及び区内 6 クラブの連携協調に留意して参りました。次に実施した主な ACT は先ず青少年健全育成事業として市原市青少年の集い及び育成大会並びに地域のボーイスカウト市原第 5 回及び剣道教室清風会等に夫々支援金を、社会奉仕活動として

献血献眼作業及び交通安全運動等を継続事業として実施、特例として島原災害義援金を他のクラブ同様送金しました。次に冬季 YE 受入（ニュージーランド国籍女子学生 18 才）12 月 8 日より 29 日迄前半所定のスケジュールにより実施し無事に後半担当の千葉事業 LC へ引渡しした次第、会員関係は増減共各 2 名で現有メンバー 47 名を維持、LCIF 関係は MJF に L&LS 各 1 名並びに全会員 10 \$ 献金を実施、その他のクラブとの交流関係は前述の外、周年行事及び親睦ゴルフ並びにチャリティパーティ等積極的に参加し親睦を深めております。終りに例会対策について、本件はガバナー公式訪問質問回答書にも在る如く、クラブ運営の共通課題として各クラブ役員 of 腐心している処と存じますが、当クラブは陳腐ですが敢て多少の効率化を希い次の様なことを実施しております。幸い当クラブに叙勲受賞者で昨年末米寿を迎え尚、^{かくしゃく}矍鑠として俳画の道に活躍されておられる最長老 L に懇請して各メンバーの誕生月祝に直筆の色紙を贈ることとして昨年 10 月度から実施しましたが、その文言は「誠者天道」誠に人生の至実と云うべきで、これらの色紙が漸次全メンバーに贈られるに伴ない、希求するメンバーの積極参加に寄与されるよう念じている昨今です。

献血 5 万人達成

千葉若潮 LC

幹事 L. 村元英郎

千葉若潮ライオンズクラブでは年 2 回の献血活動を行っておりますが、今回運転免許センター内の日赤献血ルームより昨年 1 月に開所以来 5 万人目が、近々出るので、その時期に千葉若潮ライオンズクラブに協力をお願いし

たいとの申し出がありました。当クラブとしても願っても無いことなので、役員会及び例会にはかり、全員一致で決定し 12 月 5 日の 5 万人目達成のために多くの会員が、PR 活動に協力し午後 2 時半頃に 5 万人目が出まし

た。その市川市日之出、会社員、厚東幸子さん(21)に当クラブ会長L、若王子徳次朗より感謝状と記念品を贈りました。いつもは献血ルームの1日平均は約100人位の献血者ですが、当日は150人の献血者があり献血のPR活動に協力した甲斐があったように思います。今度は7万人目の時に又、協力願いたいとの依頼があり喜んでお引き受け致しました。



“善意の提供者”5万人超す 運転免許Cの献血ルーム

幕張メッセ近くにある、日赤運転免許センター献血ルーム(越後貞正也所長)の献血者数が五日、五万人を突破した。ちょうど五万人目となった市川市のOLには、感謝状と記念品が贈られた。

同ルームは昨年一月二十日、現在県内に五カ所ある献血ルームの三番目の施設として、千葉市浜田二丁目県運転免許センター内に開設された。日曜と祝日、年末年始を除く毎日、採血を実施、オープンから三年足らずでのスピード達成となった。越後貞正所長は、免許センターには毎日、免許の更新や講習などで大勢の献血避難者が訪れる。地の利もあり、五カ所の献血ルームの中でも毎月の献血者数は断然トップと話していた。ちょうど五万人目となったのは、市川市日之出のOL、厚東幸子さん(21)。厚東さんと、五万人目となった千葉市稲毛台の自営業、篠崎美子さん(30)の二人には、献血活



5万人目の献血者となり、感謝状を受ける厚東さん(右)

動に日ごろから協力している千葉若潮ライオンズクラブの若王子徳次朗会長から、感謝状と、記念品として東京ディズニーランドのパスポート券がペアで贈られた。厚東さんが勤務する会社は、実は東京ディズニーランドを経営するオリエンタル

に協力したい」と笑顔で話していた。

3 R. リジョンの頁を担当して

3 R・PR 情報委員 L. 鹿野国秀 (千葉ポートLC)

3 Rは千葉県の中核を有する所で北 (North) に佐倉東 (East) 成田 西 (West) 幕張 南 (South) 市原と千葉県はおろか日本を代表する地域に属します。クラブ数16 C LSCを配します。

- 3 R 1 Z 成田、佐倉、四街道、酒々井、成田平成、成田グリーン、八街、八街グリーン
- 2 S 千葉、千葉中央、千葉若潮、千葉ポート
- 3 Z 市原、千葉エコー、市原南、千葉京葉
- LS 千葉京葉LSC 千葉南LSC



We Serve

活動するライオンズ

浦安シーサイドLC

＜ACT＞

まず我会長のこの勇姿をご覧ください。

我がクラブの毎年行っております清掃奉仕の晴姿であります。

今年は雨で延び延びになりましたが11月17日に行いました。

新浦安駅より約3Kmの道両サイドの清掃奉仕です。子供さんもお母さんと一緒に出席して頂き2屯トラック山積の成果をあげて、ご褒美は全員で焼肉パーティです。

我が、浦安シーサイドライオンズクラブは何をしても楽しいクラブで有りたいナーとおもっています。



＜国際交流＞

我が浦安シーサイドライオンズクラブは今年国際交流の波にのっております。

(1) 前回の地区ニュースではアフリカのベナン共和国ライオンズクラブの来訪をお知らせ致しましたが、今回は台湾高雄光華LC、光輝LSC両クラブの来訪です。神戸で開催されたアジアフォーラムの出席の翌日11月11日に我がクラブに御一行14名で来訪されたのです。我クラブとしては例会振替をして会員と奥様方も一緒に全員でお迎え致しました。バナーの交換、エールの交換、両国カラオケ2ヶ国語(同じ歌)歌唱(日本人→中国語 中国人→日本語)が成功し大変な盛況の中で例会を終了しました。両ライオンズクラブは今後も「フレンドシップクラブ」として友好関係を深めて交流致す事となりました。

(2) 10月5日浦安市の姉妹都市であるフロリダ州オーランド市より御一行の来市に我が浦安シーサイドライオンズクラブも協賛出席致し、市の国際交流にご協力することとなりました。その後早速11月17日より8日間、我クラブよりフロリダ州オーランド市へ3名出かけて、オーランドダウンタウンライオン



ズクラブの例会訪問をいたしました。

- (3) 浦安シーサイドライオンズクラブ第2代会長塚本勝弘Lがスペインバルセロナへ栄転される事となりバルセロナLCクラブへの送別会を12月2日盛大に開催致しました。会員寄せ書きをしてスペイン語で「We Serve」をいたしました。

銚子LC

(姉妹提携、15周年式典銚子ライオンズクラブが訪台)
中華民国台北市龍山国際獅子会(台北龍山ライオンズクラブ)と銚子ライオンズクラブ会長酒谷昌男は11月14日から同月17日に亘り、姉妹提携15周年記念式典に参加するため、安藤英夫姉妹提携会長ら同伴者を含め総勢27名で訪台し、国際会長、ドナルド・E・バンカー及びダイアン夫人列席のもとに、式典は盛大且つ厳粛理に挙行され、アワードの授賞や記念品の相互の交換等で無事終了し、有意義な国際交流的一幕であった。

茲に姉妹提携15周年記念式典(11月15日)の銚子ライオンズクラブ会長酒谷昌男Lより!! 本日茲に中華民国台北市龍山国際獅子会と日本国千葉県銚子ライオンズクラブの姉妹提携15周年記念式典を盛大に挙行されます事をかい衷心よりお慶び申し上げます。遠きに離れ



ていても日毎親しさを増す、此の心こそが友情と理解しております。会場参加者全員に判然と分かる大声で、15周年を慶祝した。

又奉仕活動として、姉妹提携15周年を記念して「彩虹村」に智障児の福利厚生施設に、台北龍山クラブ、若杉福岡クラブ、銚子クラブ三者共同での計画(平成4年2月完成の予定)総経費日本円で200万円、内訳は龍山クラブ100万円、若杉福岡クラブ50万円、銚子クラブ50万円が拠出した。

銚子中央LC

銚子中央ライオンズクラブはクラブ結成一周年を迎えて世界ライオンズ奉仕事業として、30名のクラブメンバーの参加をいただき10月6日(日曜日)銚子市君が浜しおさい公園の植樹。手入れと清掃又君ヶ浜海岸の清掃を実施した。



千潟LC

世界ライオンズ奉仕デーに、地元幽学公園にクラブで植樹した、ごよう松、つばきの木公園の花壇及びその周辺の除草作業と追肥等実施、又当日交通安全運動実施、道行く車輛に安全運転の呼びかけを行い、交通安全塔の整備等を実施した。



We Serve



館山 鋸南 館山中央
館山北 館山 南LC

献血に思うこと

6R1Z ZC

鈴木 俊一 (館山中央LC)

第6R第1Zガバナー公式訪問記念合同献血実施日9月19日は房総方面に大風上陸の気象予報の大雨、大風の中で各クラブ三役及館山中央LC社会福祉委員会また、ボーイスカウト館山第一回役員のみなさまの準備御協力



により、9時30分より12時30分迄の短時間の作業により百数十名36,800ccの実績を挙げる事が出来ました事に深く謝意を表したいと思います。敢へて此処にに申し上げたい事は会員の方、また一般の方に非常に献血の有意義さを認識され毎回献血をなさっている方のあることを知り、新ためて敬意を表わすと共に頭のさがる思いです。今後の献血実施には是非多数の会員の皆様の参加と御協力戴ければと御期待申し上げながら終文といたします。

白子LC

10月27日 第2回チャリティダンスパーティを開催
白子ライオンズクラブは、主催事業の1つとして、白子町体育館において、2回目のチャリティダンスパーティ



を行いました。参加者は約400名で1回目よりも大勢の人々が参加してくれました。収益金は町内の青少年育成事業団、社会福祉協議会へ贈った。一部ですが雲仙岳の見舞金として贈られました。



11月22日 白子町の特殊学級合同校外学習の実施
第11回目になる白子町の小、中学校の生徒に対し校外学習をライオンズクラブとして協力しました。当日は早朝に出発して、ディズニーランドにおいて、楽しく、ゆかに過ごしました。子供達にはそれぞれ先生が付きそって思い思いの意義ある1日を過ごしました。

長南LC

10月6日(日)には、全員参加のもとに「関東ふれあいの道笠森遊歩道」のゴミ、空缶拾い等の奉仕作業を実施致しました。本来ですと8日のライオンズディーに行く予定でしたが雨天が予知されましたので早目に活動しました。普段より体を使わない人が多い中、皆一生懸命に作業しました。おかげできれいな遊歩道になりました。

師走の多忙の中、12月8日(日)クラブ結成10周年



記念式典を厳粛に挙行了しました。吉田ガバナーをはじめ、キャビネット役員、一般ご来賓、そしてスポンサークラブ茂原長生LC等ブラザークラブ各位の御光来の中で成功裡に行いました。長南ライオンズクラブのスローガンである「一隅を照らす」をメンバー各位がよく理解し、ガバナー方針を具体的目標に設定し活動を進めております。地域の実態に即した、青少年健全育成、環境の保全、社会福祉活動等、鋭意努力して行いました。この度の記念事業として、町へ普通自動車1台、公民館へ天幕一張、公民館図書室へ金一封、幼稚園へはトランポリンを2台小学校陸上競技大会へ優勝旗、優勝杯を、又、独居老人



への見舞金、園児へはクリスマスプレゼントとしてお菓子を贈ったりした。金銭ACT総合計¥2600万、労力ACTとして15時間ですが、サンタとなって訪問しました。

九十九里LC

7R2Z

九十九里自動車から車を寄贈

九十九里町作田5908番地の(有)九十九里自動車工業代表取締役 齊藤定行氏より町社会福祉協議会へ普通自動車1台を寄贈しました。寄贈をうけた社会福祉協議会では、地域福祉圏の育成活動促進のために走りますと張切っております。齊藤氏は当クラブの前会長として地域社会のために活躍されております。



成東LC

念願のYE生受け入れと派遣

成東ライオンズクラブは歴代会長より念願であったYE生の問題を今度、初めて実現できました。真行寺会長



We Serve

を中心としてYE委員の清水ライオンのお力添えで同時に可能になりました。受入YE生はクラブ会計L、鈴木宅にお世話になりました。YE生、エドウィナ、ホジキンソンさんは日本語堪能な女性で、ホスト家庭に良くなりました。又、派遣YE生として、高校2年生の篠崎繭子さんをマレーシアへ送りました。今後のクラブ方針

としては、YE生を多数受け入れ国際交流の担い手として活動する事です。写真説明ですが、成東町長とクラブ3役にはさまれて、左側の女性は、町へ英語教師として指導しているアメリカ人。真中の女性が派遣生。右側の女性（ゆかた姿）が受入生です。因にオーストラリア国旗は、駐在大使館より借用したものです。



雲 仙 災 害 義 捐 金

R	Z	ク ラ ブ 名	送 金 額	R	Z	ク ラ ブ 名	送 金 額	
1	1	市 川	30,000	4	1	銚 子	102,000	
		市 川 東	100,000			佐 原	100,000	
		下 総 中 山	60,000			東 庄		
		浦 安 徳	500,000			神 崎	90,000	
		市 川 東				大 栄	80,000	
		浦安シーサイド	400,000			栗 源		
		小 計				銚 子 中 央	200,000	
	2	松 戸	310,000		2	八 日 市 場		
		流 山				旭		
		松 戸 中 央	239,999			総 武 中 央		
		松 戸 東				飯 岡		
		野 田				多 古	80,000	
		松 戸 ユー カ リ	200,000			干 潟	87,000	
		関 宿	200,000			山 田 町		
	小 計		光					
	3	柏	100,000		5	1	木 更 津	
		我 孫 子	40,000				木 更 津 中 央	
		柏 中 央	100,000				袖 ケ 浦	90,000
		柏 グ リ ー ン	100,000				木 更 津 金 鈴	
		印 西	74,000				小 計	
	柏 オ ー ク	100,000	2		富 津	200,000		
小 計		上 総						
2	1	船 橋			君 津	59,533		
		船 橋 中 央			君 津 中 央	100,000		
		鎌 ケ 谷 南		100,000	小 計			
		船 橋 ポ ー ト	200,000	6	1	館 山	55,000	
		小 計				鋸 南	40,000	
	2	習 志 野	300,000			館 山 中 央	60,000	
八 千 代		300,000	館 山 北			27,000		
船 橋 東		500,000	館 山 南			40,000		
船 橋 京 葉		300,000	小 計					
船 橋 北		300,000	2	鴨 川	57,000			
習 志 野 中 央		300,000		房 州 白 浜	36,000			
八 千 代 東	300,000	房 州 朝 夷						
小 計		房 総 勝 浦						
3	1	成 田		500,000	7	1	茂 原	300,000
		佐 倉		200,000			上 総 一 宮	100,000
		四 街 道	200,000	茂 原 長 生			205,000	
		酒 々 井	56,000	白 子			70,000	
		成 田 グ リ ー ン	300,000	長 南				
		成 田 平 成	300,000	長 柄				
		八 街	200,000	小 計				
		八 街 グ リ ー ン	200,000	2			東 金	100,000
	小 計		大 網 白 里		100,000			
	2	千 葉	200,000		九 十 九 里	100,000		
		千 葉 中 央	200,000		成 東	30,000		
		千 葉 若 潮	350,000		小 計			
		千 葉 ポ ー ト	837,953		3	市 原	400,000	
		小 計				千 葉 エ コ ー	250,000	
		3	市 原	400,000		市 原 南	200,000	
千 葉			200,000	千 葉 京 葉		200,000		
小 計			小 計					
合 計			合 計	12,066,486				



We Serve

LCIF 送金状況

12月末現在MR報告による

R	Z	クラブ名	HJF 数	クラブ献金	Z	R	クラブ名	HJF 数	クラブ献金
1	1	市川		80,240	4	1	銚子		77,520
		市川東	1	57,120			佐原	2	137,360
		下総中山	3	58,800			東庄	2	
		浦安	4	65,280			神崎		
		行徳					大栄	2	54,400
		市川北	1	43,400			栗源	1	35,360
		浦安シーサイド					銚子中央	1	
	小計			小計					
	2	松戸	2	104,390		2	八日市場		48,300
		流山		73,140			旭	3	112,000
		松戸中央	2	86,800			総武中央		65,800
		松戸東	12	80,640			飯岡	2	63,920
		野田	3	85,400			多古	2	54,400
		松戸ユーカリ	7	67,000			千潟	2	56,580
関宿				山田町	5		64,400		
小計			光	1	36,400				
3	柏		102,000	5	R 合計	23			
	我孫子	2	27,600		1	木更津	2	44,640	
	柏中央	17	112,000			木更津中央	2	46,200	
	柏グリーン	5	89,700			袖ヶ浦	3	58,480	
	印西	3	51,060			木更津金鈴	2	47,600	
	柏オーク	9	88,200		小計				
R 合計	71		2	富津	4	60,060			
1	船橋			62,100	上総	3			
	船橋中央	9		121,440	君津	3	86,940		
	鎌ヶ谷	2		60,200	君津中央	3	47,600		
	沼南	2	27,600	小計	22				
	船橋ポート	6	66,751	R 合計					
	小計			1	館山	2	77,000		
2	習志野	16	60,200		鋸南				
	八千代	4	74,880		館山中央	2	85,400		
	船橋東	20	140,760		館山北	1	37,800		
	船橋京葉	3	39,200		館山南	3	56,000		
	船橋北	2	51,060		小計				
	習志野中央	3	50,400	2	鴨川				
八千代東	2	49,680	房州白浜		2				
小計			房州朝夷						
R 合計	69		房総勝浦			107,440			
1	成田			7	小計				
	佐倉	1			R 合計	10			
	四街道				1	茂原		82,940	
	酒々井	1	39,200			上総一宮	1		
	成田グリーン	2	65,380			茂原長生		54,600	
	成田平成					白子		57,200	
	八街				長柄	1			
	八街グリーン				小計				
小計			2	東金	3	63,000			
2	千葉葉	2		108,800	大網白里	2	54,000		
	千葉中央	3		73,440	九十九里	2			
	千葉若潮				成東	2	30,240		
	千葉ポート			小計					
千葉幕張メッセ			R 合計	11					
小計			3	柏グリーンLC		300,000			
市原				市原南LC	1				
千葉エコー	2	80,040		流山LS		23,460			
市原南	1			木更津金鈴LS		16,800			
千葉京葉	2	74,800		君津中央LS		9,800			
小計			館山LS		12,600				
R 合計	14		合計	221人	4,786,841				

M J F 名

1991・7 ~ 1991・12

R	Z	ク ラ ブ 名	人数	M	J	F	名
1	1	市 川 東	41	林 一公			
		下 総 中 山	3	松丸 善次郎	石井 政勝	巴 正文	
		浦 安	4	西野 茂	鈴木 正昭	宇田川 隆	熊川 秀和
		市 川 北	1	山岸 行利			
1	2	松 戸	2	中川 明 渡辺 弥一郎			
		松 戸 中 央	2	石橋 壽三 大原 忠臣			
		松 戸 東	12	久我 泰基	島村 朋典	川村 涉	山中 永一
				関川 和則	上田 雅司	小暮 勝正	林 勝美
				小暮 利夫	田原 俊一	水野 武明	紺野 敦志
		野 田	3	高橋 利夫	大西 修	山崎 安一	
		松 戸 ユ ー カ リ	7	須藤 邦夫	上吉 司郎	丹沢 八郎	高橋 昌男
				丸山 栄一	黒沢 健治	松戸ユーカリLC	
1	3	我 孫 子	2	佐藤 明吉 増田 晴彦			
		柏 中 央	17	上原 富美夫	池田 健次郎	高津 三平	
				小林 国利	小杉 和久	松本 幸夫	進藤 良隆
				竹之下 和幸	高田 直寛	加藤 芳雄	
				畔高 敦司	鈴木 稔	加藤 誠	山崎 四郎
				根本 賢二	谷口 喜彦	上野 正勝	
		柏 グ リ ー ン	5	高田 浩	萩原 昭	杉浦 清美	藤原 興巳
				岡田 秀二			
		印 西	3	赤城 稔也	浅野 重一	藤井 松男丸	
		柏 オ ー ク	9	寺嶋 佳一	広木 義清	中嶋 利生	富沢 隆
				佐久間 勝利	広瀬 秀二	武江 克彦	
				小山田 博史	木村 吉五郎		
2	1	船 橋 中 央	9	矢橋 知巳	林 静誠	神田 泰助	田嶋 伯夫
				行川 金之丞	永田 進也	平山 長次郎	
				水木 圭司	酒井 茂		



We Serve

2	1	鎌ヶ谷	2	平田 稔 相馬 辰秋
		沼南	2	浜田 一男 川崎 栄三
		船橋ポ-ト	6	小石 税 桑島 功 鈴木 正興 大庭 明
				田口 信義 木村 孝夫
2	2	習志野	16	吉田 政勝 (\$8,000) 竹田 良美 竹内 清
				望月 武峰 安西 晃男 石塚 康雄 小川 勇一
				関 芳郎夫人由枝 田久保 良作
		八千代	4	平田 博和 小林 登 小宮 保廣 大久保 正道
		船橋東	20	押見 彰威知 名取 駿 阿多 工 荒井 茂
				石井 英雄 稲元 克宣 植野 英男 興石 栄一
				近藤 英博 佐々木 光男 清水 昭尾 田辺 強
				実川 洋一 田中 久雄 野田 昌直 林 進
				本多 文雄 村岡 信雄 森 博文 山田 譲二
		船橋京葉	3	鈴木 行正 桜井 留治 川崎 隆二
		船橋北	2	鈴木 晃秀 高久 菊男
		習志野中央	3	神谷 孝治 小川 嘉一郎 北端 保路
		八千代東	2	周郷 昭雄 田村 哲子
3	1	佐倉	1	吉川 佳彦
		酒々井	1	宮 岸男
		成田グリーン	2	岩立 忠雄 鈴木 義一
	2	千葉	2	中村 勝和 霜 礼次郎
		千葉中央	3	矢田 常吉 小川 弘 高山 照襄
		千葉エコー	2	尾形 祇文 三川 重夫
	3	市原南	1	御園生 孝
		千葉京葉	2	渡辺 佐光 山崎 敬逸
4	1	佐原	2	長島 彪 島崎 大弥
		東庄	2	青野 虎二 渡辺 金治
		大栄	2	三谷 公平 竹林 克夫
		栗源	1	平野 勝巳

4	1	銚子中央	1	橋口 一夫
4	2	旭	3	江畑 耕作 林 正樹 林 義夫
		飯岡	2	砂子 薫 渡辺 弘志
4	2	多古	2	平山 昭一 白鳥 重雄
		干潟	2	米本 新治 岩岡 由和
		山田町	5	高木 浩 越川 忍 佐藤 寛治 林 薫
				並木 梧一
		光	1	椎名 英夫
5	1	木更津	2	遠山 金臈津 鳥海 鴻一
		木更津中央	2	佐々木 幹人 石井 丈雄
		袖ヶ浦	3	木場 富久美 我妻 志良 在原 満男
		木更津金鈴	2	宮内 栄 卯田 寛
5	2	富津	4	高梨 保一 藤江 隆平 飯田 真雄 和澤 義道
		上総	3	高澤 功 一木 善次 神子 孝
		君津	3	松田 芳巳 保科 嘉彦 鈴木 章
		君津中央	3	松本 良夫 中野 孝雄 鈴木 宏
6	1	館山	2	村松 卓 広井 武雄
		館山中央	2	鈴木 俊一 武田 明
		館山北	1	松元 巖
		館山南	3	野条 功 福原 久泰 野中 永敏
6	2	房州白浜	2	武田 武久 鈴木 秀夫
7	1	上総一宮	1	中川 都弘
		長柄	1	半澤 清
7	2	東金	3	本田 輝司 榊原 吉男 平賀 昇
		大網白里	2	大塚 清 井村 大祐
		九十九里	2	鈴木 謹爾 阿部倉 隆
		成東	2	高橋 敏雄 篠崎 修
3	3	市原南LS	1	林 淑子
		合計	221	



We Serve

物故会員（10月～12月）

謹んで御冥福をお祈り致します。

1991・3.～1992

年月日	御芳名	所属ライオンクラブ	R・Z
10月5日	L. 安武 良	千葉中央	3 R・2 Z
10月25日	L. 川口一也	千葉	3 R・2 Z
11月10日	L. 鈴木重蔵	船橋	2 R・1 Z
11月17日	L. 吉原健三	銚子中央	4 R・1 Z
11月23日	L. 村杉正雄	東金	7 R・2 Z
11月26日	L. 始関伊平	千葉中央	3 R・2 Z
11月14日	L. 近藤久雄	木更津金鈴	5 R・1 Z
12月12日	L. 川名進	房州朝夷	6 R・2 Z
12月25日	L. 川名貞雄	鋸南	6 R・1 Z

編集後記

地区ニュース第4号をお届けするにあたり、原稿をお寄せ下さった方々に感謝申し上げます。松戸南LCの誕生おめでとうございます。モスクワLCの訪問記は、時代の変遷を如実に感じさせる快挙であります。第2回キャビネット会議では重要議案の提出がありましたので、地区内メンバーの御理解をいただく為に、詳しく掲載しました。本号のリジョンの頁は第3Rに担当していただきましたが、3R・PR情報委員L. 鹿野委員の御協力により、豊富な内容の記事を掲載することができました。本号に限らず、各リジョンのPR情報委員の方々から、沢山の情報を寄せていただいていることを感謝致します。

L. 蒔田辰男

美しいきものと帯



株式会社 きものふじや

本 店 習志野市大久保 1 - 28 - 7

電 話 0474 - 77 - 2020 (代)

FAX 0474 - 77 - 3595

支 店 習志野市秋津 3 - 6 - 1 (ビバ50)

電 話 0474 - 51 - 1201 (代)

代 表 L 藤 井 國 雄

胃腸科 皮膚科 習志野外科

L 吉田政勝

(習志野LC)

習志野市大久保 2 - 8 - 19

電 話 0474 - 77 - 8 5 8 2

F A X 0474 - 77 - 8 5 8 2



京葉銀行

広く深く——人と地域へのサービスが基本です

ライフネットワーク



——お近くの京葉銀行をご利用下さい。——

- | | | |
|----------|----------------|-----------|
| ○実 籾 支 店 | 習志野市実籾町4-987-1 | ☎ 73-5111 |
| ○津田沼支店 | 習志野市谷津1-17-27 | ☎ 77-1151 |
| ○秋 津 支 店 | 習志野市秋津3-6-1 | ☎ 51-1121 |
| ○藤 崎 支 店 | 習志野市藤崎3-12-16 | ☎ 73-3111 |
| ○大久保支店 | 習志野市大久保3-9-24 | ☎ 73-3101 |

BERLIN

東京⇄ベルリン線開設

WASHINGTON, D.C. 1991
BRISBANE 1986
ATLANTA 1986
DUSSELDORF 1985
BAHRAIN 1984
CHICAGO 1983
JEDDAH 1981
NADI 1980
AUCKLAND 1980
MADRID 1980
ZURICH 1979
BAGHDAD 1978
ABU DHABI 1978
RIO DE JANEIRO 1978
SAO PAULO 1978
SAIPAN 1977
SHANGHAI 1974
BEIJING 1974
BOMBAY 1972
ATHENS 1972
MEXICO CITY 1972
KHABAROVSK 1971
GUAM 1970
SYDNEY 1969
BEIRUT 1968
VANCOUVER 1968
1967 PUSAN
1967 MANILA
1967 KUALA LUMPUR
1967 MOSCOW
1966 TEHRAN
1966 AMSTERDAM
1966 NEW YORK
1965 NEW DELHI
1965 HAMBURG
1964 SEOUL
1962 JAKARTA
1962 CALCUTTA
1962 KARACHI
1962 KUWAIT
1962 CAIRO
1962 HONG KONG
1962 FRANKFURT
1961 LONDON
1961 PARIS
1961 COCENHAGEN
1959 TAIPEI
1959 ANCHORAGE
1959 LOS ANGELES
1958 SINGAPORE
1958 BANGKOK
1955 HONG KONG
1954 HONOLULU
1954 SAN FRANCISCO

●JAL409便(水・日)成田発10:00→フランクフルト経由14:20/15:30→ベルリン着16:45●JAL400便(水・日)ベルリン発17:50→フランクフルト経由19:00/21:05→成田着16:30(翌日)

就航記念プレゼント(92年1月まで) 成田からベルリンまでご搭乗のお客様にモーツァルトの交響曲CD、
ベルリンから成田までご搭乗のお客様にドイツ製ドイリー(花瓶置き)を、プレゼントいたします。

JAL